

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	河原林町自治会	七谷川左岸の防災道路として「和らぎの道」の河原林町への延伸計画促進について	<p>七谷川左岸の防災道路整備、和らぎの道延伸については以前より「七谷川周辺整備を考える会」や河原林町自治会を中心に京都府の実施していただいている七谷川河川改修と合わせ協議を行ってきたところですが、今年度、事業化できたところ。今年度は詳細設計業務を行うこととしており、8月下旬頃に業者決定する予定です。業者が決まりましたら測量作業等実施の後、基本的な道路条件の整理ができた段階で地元の皆様方と具体的な計画、整備内容等を協議したいと考えております。</p> <p>今後の予定としましては令和5年度は用地整理等を行い、京都府の河川工事と調整次第ですが、早ければ工事を令和6年度より着手したいと考えております。事業の進捗については京都府との連携のもと進めてまいりたいと考えております。</p> <p>何より、道路整備については地元の皆様方の協力無くしてはできませんので、今後とも御協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>また、七谷川(天井川区間)につきましては、河川管理者の京都府に置いて河川改修工事が鋭意進められているところ。当該天井川区間の本年度の計画としましては、昨年度実施箇所から上流へ約140m間の河床掘削及び護岸工事並びに第3陸閘の橋梁詳細設計、下流区間につきましては、約200mの河道掘削を実施される予定であると聞いているところです。今後も引き続き、京都府と連携しながら天井川の早期の課題解消に向け、協力してまいりたいと考えています。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	詳細設計業務については9月上旬に委託業者が決定し、現在基本的な道路条件の整理や京都府の河川工事との整合等を行い道路の設計を進めているところです。素案等がまとまりましたら地元の皆様にもお示しして、整備内容について協議してまいりたいと考えております。
2	河原林町自治会	【質問等】 河川を掘削した残土を処分するために遠方に運ぶのではなく、堤防の強化に使用するなどすればコスト面で無駄な税金を使用することにならないのではないか。	京都府の工事についてはまだ数年かかるため、盛土の区間が発生するのであれば有効に活用できるよう協議をしていきます。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
3	河原林町自治会	【質問等】 河川の掘削にともない、地下水が枯れてしまう可能性があるため、京都府との連携していただき対策をしてほしい。	そのような意見があることを京都府へ伝えさせていただき事業を進めてまいります。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
4	河原林町自治会	まちづくり活動(京都府地域協働推進プログラム)への継続的な支援について	<p>河原林町では自治会が中心となり河原林町まちづくりプラン推進会議を立ち上げられ、平成27年に地域版の総合計画ともいえるまちづくり計画を策定され、計画推進にあたり、河原林町まちづくり会議を設立されました。平成27年度から29年度まで京都府のまちの公共員制度を利用されるにあたり、亀岡市として企画調整課が窓口をさせていただいたところですが。</p> <p>令和4年度からは河原林町まちづくり会議の推進体制を再編され、京都府の制度である「地域協働推進プログラム」を活用されることとなり、本市としても他地域のモデルにもなる取り組みと考えており、推薦をさせていただくべく準備を進めております。</p> <p>また、今後の活動への支援につきましては、コミュニティ推進員制度をこれまでと同様に活用いただき、各事業の推進に関係部署との連携を図っていただければと考えております。また市からの資金面の支援については「ふるさと亀岡自治活動応援交付金」を活用いただくことが基本になるものと考えておりますが、個別の事業内容によっては市以外の助成制度も活用いただける場合もあると思いますので京都府とも連携して情報提供等をさせていただきたいと考えております。</p> <p>最後に京都府の地域協働推進プログラム終了後の令和7年度からの支援体制ということですが、人的な支援としては、先ほど申し上げましたコミュニティ推進員による支援は継続できるものと思っておりますし、資金面においても国においてふるさと納税制度が存続する限り「ふるさと亀岡自治活動応援交付金」を活用いただくことが基本と考えておりますが、他の地域からもまちづくりへの取り組みへの支援について要望があるところであり、今後の検討課題であると考えております。</p>	生涯学習部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
5	河原林町自治会	<p>【質問等】 河原林町自治会の活動の実績がモデルケースとなっていき、亀岡市全域で広がっていくものであり、府の支援終了後は、亀岡市独自の支援制度を検討いただきたい。</p>	<p>ふるさと納税のなかに自治会応援の寄附金も含まれており、自治会の努力により財源を確保できる制度であるため積極的に活用をいただければと思います。</p>	<p>市長 (生涯学習部)</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
6	河原林町自治会	有害鳥獣の駆除、及び臭気の対策強化継続について	<p>有害鳥獣の駆除につきましては、亀岡猟友会との委託契約により、年間4回の計画捕獲期間以外に自治会を通じて提出いただく駆除要請に基づき、突発捕獲を猟友会川東班へ要請し、農作物被害の軽減を図るため、駆除活動に取り組んでいるところです。</p> <p>水稲への被害を及ぼすシカにつきましては、川東地区で昨年度は計61頭を駆除しておりますが、河原林町地内においては1頭のみ駆除実績となっております。</p> <p>野菜等への被害を及ぼすカラスにつきましては、農業公園内に設置している捕獲檻により、昨年度は計56羽を捕獲しており、併せて、馬路町地内の月読神社近くに設置するカラス捕獲檻でも、計156羽を捕獲しましたが、大量捕獲することは難しい状況にあります。今年度は、6月末現在で河原林町地内では計30羽、馬路町で計52羽を捕獲しており前年度に比べて駆除ペースは上がっているところです。</p> <p>現状としまして、駆除数以上にカラスの数が多いことは認識しておりますので、今後ともカラスの全体数を減らしていくために猟友会とも連携して継続的な駆除活動に取り組んでまいります。</p> <p>また、土づくりセンターの臭気につきましては、指定管理者である市農業公社と連携しながら、堆肥の臭気抑制に取り組んでいるところであります。</p> <p>具体的には、京都先端科学大学バイオ環境学部教授からの指導のもと、令和元年度に土づくりセンターの臭気対策の先進地である愛知県の堆肥センターへの視察等を実施しました。愛知県では、有機系発酵促進剤を活用しておられ、本市でもその状況の調査・研究をもとに、臭気抑制対策として、この有機系発酵促進剤を定期的かつ頻繁に散布しており、土づくりセンターの作業現場からも、堆肥製造過程において、臭気の抑制に一定の効果があるとの報告を受けております。</p> <p>今後とも、指定管理者と連携して、この発酵促進剤の活用も含めて臭気の抑制に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>また、丹波畜産養豚場につきましては、平成28年6月1日に締結した「環境保全に関する協定書」に基づき、地元自治会、丹波畜産、京都府、亀岡市で構成する「農事組合法人丹波畜産協同組合の養豚場運営に係る環境保全委員会」を設置し、現地確認や意見交換をするなかで、協定書の履行状況を確認いたします。なお、今年度の環境保全委員会は、7月28日の木曜日に開催する予定としており、引き続き、養豚場の管理運営が適正に行われるよう、関係機関とも連携して丹波畜産への指導・助言を行ってまいります。</p>	産業観光部長	①実施	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p> <p>なお、丹波畜産養豚場につきましては、7月28日に開催しました「環境保全委員会」での住民の皆様の意見を踏まえ、「環境保全に関する協定書」の一部改定を行ったところです。今後も、養豚場の管理運営の適正化に向けて、「協定書」に基づき関係機関と連携し、また、府の「プロジェクトチーム」による助言・指導と併せて一層の指導強化を図ってまいります。</p>

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
7	河原林町自治会	【質問等】 臭気について、「臭いの抑制」ではなく「臭いをゼロ」にする方針を出していただきたい。臭いをなくせば農業公園を憩いの場として活用できる。	確かに臭いはなくなっていないが何とかしたいという思いがあり、バイオマスに変えていくような取り組みを模索しています。市議会からも農業公園の利用者が少ないとの指摘を受けたため、地元と協議しながら対応していきたいです。まだ提案できる段階ではないものの、今後は農業公園を6次産業の発信地などの活用の可能性の提案をしながら進めてまいります。	市長 (産業観光部長)	①実施	○土づくりセンター 指定管理者である亀岡市農業公社と連携しながら、今後も臭気の抑制に取り組んでいきます。 具体的には、引き続き、有機系発酵促進剤を定期的に活用して作業時に頻繁に散布し、堆肥製造過程における臭気抑制を行うとともに、臭気の発生を少なくする製造方法についての研究を行っています。
8	河原林町自治会	【質問等】 農業公園にカラスの檻がある、東屋はカラスのフンだらけと公園の体をなしていない。 カラスを捕まえた結果ではなく、根本的にカラスが寄らない対策を考えてほしい。	関係機関と調整し、ゼロにするとは言えないものの対策を検討していきたい。	産業観光部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
9	河原林町自治会	通称「南河原」(七谷川の分水路)の利用計画について	通称「南河原」(七谷川の分水路)は亀岡市法定外水路であり、水路の境界は流水部のみで、堤体部の所有権は個人所有となっているところです。また、豪雨時には南河原が周辺の排水路となっている現状です。 整備に当たっては、まずは治水面で必要な断面の検討を行う必要があるところですが、今後、どのような計画で整備を進めるかについて、まずは地元のまちづくりの思いを聞かせていただく中で、先ほど申しあげました治水面や用地整理等の課題解決に向けて、今後、地元関係者と協議調整を進めてまいりたいと考えているところです。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
10	河原林町自治会	【質問等】 七谷川の改修を優先してもらいながら、七谷川の排水の側面もあるため、七谷川の改修と同時並行で進めてほしい。 まちづくりの面でも、南河原を埋めて、運動場を広くし水路を確保できれば町民が集まる場とすることができる。	京都府と相談し、河川整備の状況により、七谷川の流量を確認し、南河原の排水をどのように仕上げていくか協議をしていきたい。 七谷川にすべて流量を任せるのではなく、仕切弁などで調整し一部を南河原に流量を任せるなどの方法を検討することができる。暗渠排水を設け、その上を埋め立て市道にしていくことも可能と思われるため、地元と協議をしていきたい。	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
11	河原林町自治会	宇津根橋から亀岡駅北方向につながる桂川右岸道路の拡幅整備について 駅北方向に向かう桂川の右岸道路は現在100mほど拡幅整備しているが、それを駅北ロータリーにつながるように拡幅整備延長の検討をしてほしい。	宇津根橋下流右岸道路については宇津根橋からJR亀岡駅北を結ぶ市道保津宇津根並河線として整備を行っており、昨年度については宇津根橋の完成に合わせて、交差点部について整備したところです。令和4年度についても昨年度完成させた箇所より下流部に向け約500mの間工事を行う予定にしており、8月下旬頃業者決定の予定です。 全線開通については曾我谷川の霞堤かさ上げなど、京都府の河川計画と整合を図る必要があるほか、曾我谷川の渡河に係る道路整備方法等、道路計画について調整、検討していく必要もあることから、今後も京都府等、関係機関と協議調整を行い、早期完成に向け取り組んでまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	①実施 ⑥その他	今年度の工事については10月下旬に業者が決定し、年度末完成に向けて工事を進めているところです。

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
12	河原林町 自治会	川東地区は震源地に近いと思われる。 どんな対策が必要か、減災についてア ドバイスをしてほしい。	<p>令和4年3月31日に亀岡市を震源とする震度4の地震が発生し、その後も十数回に渡って地震が発生しております。大雨等とは異なり、地震の発生は突発的であることから、いつ地震が起きても適切に対応できるように、日ごころからの備えが重要となります。具体的には、家具の固定や、備蓄品の充実、情報収集ツールの充実や連絡体制の確立などがあげられます。また、近隣の避難場所への避難ルートの確認も重要です。</p> <p>家具の固定については、特に寝室等において、倒れた際に身体が下敷きになったり、出入口を塞いだりしないような配置を考慮いただくとともに、各種備蓄品に関しては、いざというときにすぐに持ち出せるよう、リストアップの上、持ち出し袋等にまとめることを推奨しています。</p> <p>災害時の情報収集については、現在では様々な手段がございますが、緊急地震速報をはじめ、「防災情報かめおかメール」や「Yahoo!防災」アプリなど、プッシュ通知によって瞬時に情報を受け取れるものを推奨しています。その中でも御自身の環境にあったものを活用いただき、非常時に速やかな対応ができるよう心掛けてください。</p> <p>連絡体制につきましては、自治会・自主防災会・消防団や民生委員の方々など、非常時に速やかな安否確認、連携が図れるような体制構築を心掛けてください。特に、高齢者の方や障がい者の方、乳幼児の方など、災害時要配慮者への安否確認、支援体制についても配慮いただきますようお願いいたします。</p>	総務部長	④要望	文書回答のとおりです。

R4 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
13	河原林町自治会	河原林地区の桂川竹伐採跡地の有効利用について 早期の検討・着手をしてほしい。	一級河川桂川の当該伐採跡地については、令和2年度に河川管理者である京都府により、防災・減災の観点から河川の通水断面を確保するため樹木を伐採処分された箇所です。 今後、桂川の河川空間の有効利用については、当該地区にふさわしい利用形態について、まずは、地元自治会においてご提案いただき、府と市が連携のもとに地元と協議を進めてまいりたいと考えます。	まちづくり推進部長	⑥その他	文書回答のとおりです。
14	河原林町自治会	文化財保存活用地域計画を策定中と聞いている。河原林町のプロジェクトとリンクするので、計画内容の開示と支援をしてほしい	今年度中の文化庁の認定を目指し現在策定中の亀岡市文化財保存活用地域計画は、8月8日までの期間でパブリックコメントを受け付けており、亀岡市のホームページにアップし、市民情報コーナーや文化資料館にも置いておりますので、ご確認いただきご要望等がありましたら、ご意見としてお寄せください。 なお、当該計画には、今後実施する措置として「丹波国分尼寺跡等を生かした河原林地域の文化財の活用の推進」を位置づけており、河原林町自治会とも連携しながら、地域の活性化に繋がるよう文化財の保存・活用を進めていきたいと考えます。	教育部長	③検討	文書回答のとおりです。